

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表 集計結果

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			東京都指定により、放課後等デイサービスの教室の広さは児童1名に対し、4㎡と定められています。当事業所は66.34㎡あり、児童が運動するには十分なスペースが確保されています。
	② 職員配置数は適切であるか	○			職員数は児童5名に対し職員1名が基準として定められています。当事業所は安全面を考慮し、加配を有しております。専門性については全職員、有資格者となっています。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			机や壁の危険箇所にはコーナガードを使用し、日々の療育を行っていく上で見つかった危険箇所への対応も職員間で話し合いながら安全に留意しています。また出入口には段差がない設計になっており、バリアフリー化に配慮しております。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			毎朝ミーティング及び必要に応じて会議を行い、前日当日の児童に対しての共有事項やその日の活動の流れを話し合っています。また前日の療育への振り返りも合わせて行ない、業務改善に努めています。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者の方からのご意見等は職員間で共有しています。また年に一度保護者の方から事業所を評価して頂き、意見を出し合いながら業務改善に努めています。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			保護者向け評価表と事業所向け評価表の結果を集計してホームページ上で公開しています。ホームページ上で公表後、HUG（ネット上の療育支援システム）にてお知らせ致します。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			月に一度姉妹教室を含めたミーティングを行い情報共有の場を設けています。姉妹教室とのミーティングの結果を元に再度教室内でミーティングを行い業務改善に努めています。
	⑧ 職員の資質の向上を行う為に研修の機会を確保しているか	○			「虐待防止」「防災」「強度行動障害」等の外部研修に加え「療育について」の内部研修も実施し資質の向上に努めています。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			児童が来所する度に当日の様子を記録に残し個別支援計画作成時に確認しています。また保護者、児童指導員、児童発達支援管理責任者、専門職を含めて話し合いを行い半年に一度もしくは児童の成長・変化に応じて個別支援計画の作成を行っています。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			契約時や年度が変わる際にアセスメントシートの見直しを実施しています。生活する為の基本動作から社会性・情緒・行動面・生活面を把握する為に5段階で評価できるように改良し、児童の成長の様子が詳しく分かるようにしています。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎朝のミーティングの時間や療育終了後に職員間で意見を出し合いながら、質の高い支援を行えるように努めています。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			その日の児童の様子などを考慮し同じプログラムにならないよう各職員で考えを持ち寄りながら療育を考えています。季節ごとのイベントなども教室内で新型コロナウイルスの感染対策を行った上で取り組んでおります。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			それぞれの児童の課題を話し合った上で、療育プログラムを朝のミーティングで確認しています。また療育内容がマンネリ化しないよう職員間で意見を出し合いながら新しい療育を考えています。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別活動と集団活動を組み合わせよう個別支援計画の作成に努めていますが、それぞれの児童の課題を重視しています。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎朝職員間でミーティングを行い、その日に来所する児童の情報共有や、療育内容について話し合っています。役割分担に関しましては、割り振りを行いますが、その日の児童の様子に応じて臨機応変に対応しています。また、前日の振り返り・保護者からのご相談・情報についても職員全体で共有し次の療育へ繋げています。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			療育終了後に、個々に話せるタイミングで振り返りや保護者からの連絡事項を共有し、翌朝のミーティングでは全体での情報共有を図っています。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			HUG（ネット上の療育支援システム）にて各児童の1日の様子、全体の活動日誌、実績記録表、サービス提供内容の記載を行っています。支援に関する記録を取るなかでその日の支援について振り返り、指導員の対応方法など改善点を出しています。
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			モニタリング前・後ともに児童指導員、児童発達支援管理責任者、保護者や関係機関等を含め、アセスメントを取りまとめ、一人ひとりの成長に合ったサービス計画の見直しの必要性を判断しています。
⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			定期的に児童発達支援ガイドライン及び放課後等デイサービスガイドラインを読みなおし、日々の療育に繋げています。	
⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			障害児相談支援事業所からモニタリングに関しては、児童発達支援管理責任者及び、その児童の状況に精通した指導員が対応しています。また、会議に関しては、必要に応じて対応しています。	

	⑫ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		学校との情報共有に関して、保護者を通して行っておりますが、必要に応じて学校側から情報提供していただく場合もあります。事業所から学校への情報共有に関しては、保護者からお伝えいただくようお願いしています。行事予定など、月間のスケジュールが記載されているものをコピーさせていただき共有など必要に応じた対応を行っています。
--	---	---	--	---

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	通所受給者証をお持ちの方から相談があった際には、必要に応じて対応いたします。
	㉑	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		幼稚園・保育園等とは直接的な情報共有は難しい面があるため、姉妹教室である児童発達支援事業所との連携を図り、情報共有と相互理解に努めています。
	㉒	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	現在、障害福祉サービスへ移行される利用児童はおらず、今後必要に応じて情報の共有を行います。また、ほしのごグループとして課題別や学年別での療育を展開しており、高学年への進級に伴い姉妹教室への促しや、これまでの支援内容等の情報提供を行っています。今後も放デイを卒業する児童への支援の在り方を見直してきます。
	㉓	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	児童発達支援センターや児童発達支援事業所の職員の方の療育の見学を受け入れ、情報等を共有し連携を図っています。また、児童発達支援センター主催の研修にも積極的に参加させていただいております。
	㉔	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	例年であれば年間行事として、地域の方々や小学校等に案内を掲示し、夏祭り・発表会・もちつき等の行事を開催しております。その他、お出かけ療育には公共交通機関を利用して交流する機会を設けています。今年度も、新型コロナウイルス感染防止の観点からイベントを中止しました。
	㉕	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		区が開催しているネットワーク会議等へ積極的に参加しています。また会議内容等は職員で共有しています。
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		日々の保護者対応時で、保護者の方の悩みやその日に起こった出来事や課題・今後についてお話しをしています。また、HUG（ネット上の療育支援システム）では、利用するごとにサービス提供内容や一日の様子を詳しく載せており、いつでも確認して頂ける状況にしています。情報共有を行いながら共通理解を図っています。
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	電話や面談等でのフィードバックの際に、個別支援計画書に基づきご家庭と事業所で共通した支援が行えるよう、親子でできる取り組みを提案しながら児童との関わり方について都度お伝えするようにしています。グループ相談支援についても新型コロナウイルスの感染対策をした上で開催することができ、保護者に情報を提供する場を設けています。

保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約の際には保護者の方と契約書類の読み合わせを行っており、質問等を聞きながら進めています。また、変更があった際にも別紙を用いてお伝えをしており、契約書類等については教室内に掲示しています。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			日々の保護者対応時から保護者の悩み事や困りごとを伺っており、気軽に相談できる環境をつくっています。相談を受けた際には、事前に日時を決めてから相談室を開放し、新型コロナウイルス感染対策を行った状態で、児童発達支援管理責任者のみでなく保護者のニーズに応じた職員が対応しています。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			コロナ前であれば各行事や定期的な保護者会・ほしのこカフェ等を開催し、保護者同士で子育ての事など何でもお気軽にお話や相談事ができる交流の機会も設けていました。今年度は、新型コロナウイルス感染予防の観点から、保護者会は開催していますが各行事・ほしのこカフェともに開催を中止しております。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			申し入れがあった場合はその都度職員間で共有し、話し合った上で迅速かつ適切な対応を行っています。保護者からの申し入れがあった場合は、早急に予定を調整して相談室にて対応していきます。
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			日々の活動の様子やお知らせをHUG（ネット上の療育支援システム）で定期的に変更を行い情報発信をしています。また、フェイスブックやインスタグラムなどのSNSの更新も随時行っており、児童の様子が伝わりやすい工夫をしています。
	㉕	個人情報に十分注意しているか	○			不必要に社外に情報が洩れないように電話対応やメール対応には細心の注意を行いながら対応を行っています。個人情報記載されている書類については、鍵付きの書庫にて管理を徹底しています。また、ICT機器のウイルス対策についても徹底している為、契約の際に同意をいただく緊急時の医師への情報提供、他事業所との照会、事故発生時の情報提供以外の外部への流出はありません。
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			日々の保護者対応時やモニタリングの際などに保護者の方との情報共有を図り、児童一人ひとりに応じた円滑なコミュニケーションが図れるように努めています。
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っているか			○	新型コロナウイルス感染予防の観点から、地域住民や関係機関との交流は難しい状況が続いています。感染状況を見ながら落ち着いたタイミングで町会・地域の小学校や幼稚園・保育園の方に参加していただくようお声がけをしています。
非常時等の対応	㉘	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			各マニュアルを策定し教室に保管しており、変更がある毎に更新し、職員間で周知しています。保護者からのマニュアル閲覧へのご要望がありましたら、随時対応させていただきます。また、緊急時の連絡手段として、保護者の方にはマチコミの利用登録をお願いしております。
	㉙	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			避難経路を教室内に掲示しているとともに、定期的な避難訓練を実施しています。避難所である大森第四小学校へ火災や地震等を想定して避難訓練を実施しています。また、避難訓練時には他教室や本社とも連携を図り、起こり得る様々な場面を想定して行なっています。
	㉚	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			社内研修だけでなく社外研修にも積極的に参加し、各自自己研鑽に努めております。また、教室内においても、研修した職員が議事録を残したり内容を共有する時間を設けており、支援の向上に繋げています。
	㉛	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			現在はやむを得ず身体拘束を必要とする児童が在籍していませんが、身体拘束にかかる説明書の内容を説明した上で同意書を頂いております。
	㉜	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			医師の指示書での対応は行っており、保護者からの指示によって対応をしています。現在、食物アレルギーの児童に関しては契約の際、保護者の同意を得て事業所ではおやつを提供せず持参したおやつを食べています。イベント等でおやつを提供を行う場合は、都度保護者へのアレルギーの再確認や保護者判断で召し上がっていただくように徹底しています。
	㉝	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットについてはその都度事例を記載しています。また、月初には集計を行い、曜日・時間・ヒヤリハットの種類別に見ながら想定・改善を行っています。ミーティングを行い職員間で再発防止のための対策を共有し、共通認識を持ちながら改善や支援の向上に努めています。